

脳卒中発症登録事業状況

県内の医療機関から提供された脳卒中患者(死亡を含む。)の発症登録の状況は次のとおりである。

ここでは脳卒中登録様式1A号及び1B号に基づき情報提供された脳卒中患者情報のうち、平成18年4月1日から平成19年3月31日までの発症として登録したものについて扱う。

1 医療機関別報告状況

協力医療機関の所在地により区分した場合の報告状況である。

	協力医療機関数	発症登録のべ件数	うち死亡件数
宇都宮市	8	391	39
県西健康福祉センター	11	987	31
県東健康福祉センター	2	203	16
県南健康福祉センター	8	824	47
県北健康福祉センター	7	1142	103
安足健康福祉センター	6	598	48
合計	42	4145	284
うち病院	33	3764	268
うち診療所	9	381	16

2 患者住所地別報告状況

登録された患者の住所により区分した場合の報告状況である。

	協力医療機関数	発症登録のべ件数	うち死亡件数
宇都宮市	25	755	67
県西健康福祉センター	21	969	37
県東健康福祉センター	12	277	24
県南健康福祉センター	22	785	42
県北健康福祉センター	18	797	68
安足健康福祉センター	11	562	46
合計		4145	284

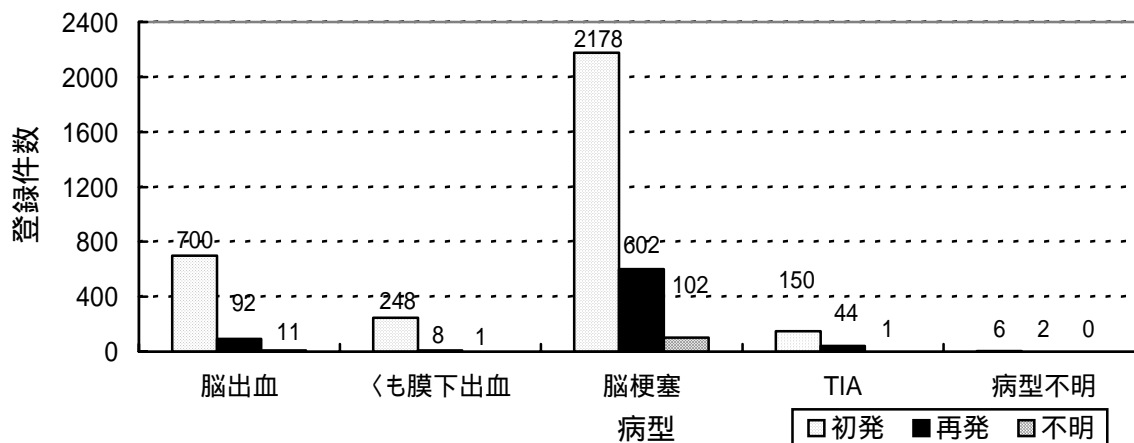
3 病型別・初再発別登録状況

病型別の登録状況では、脳梗塞の診断が最も多く 2,882 件 (69.5%)、次いで脳出血 803 件 (19.4%)、くも膜下出血 257 件 (6.2%) であった。(図 1)

初発再発別の登録状況では、初発の診断が 3,282 件 (79.2%)、再発が 748 件 (18.0%)、不明が 115 件 (2.8%) であった。

病型別の、全登録に占める再発登録の割合は、脳梗塞で 20.9% (602 件/2,882 件)、脳出血で 11.5% (92 件/803 件)、くも膜下出血で 3.1% (8 件/257 件) であった。

図1 病型別初発再発別登録件数



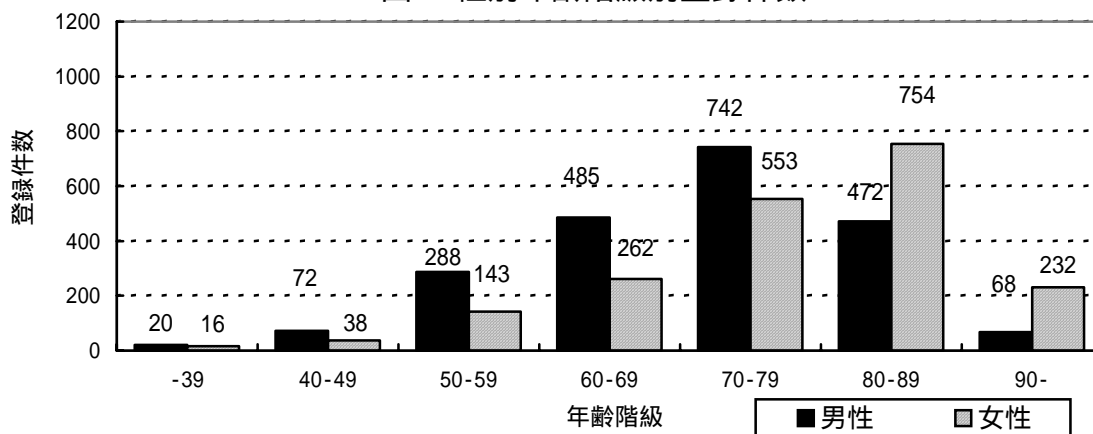
4 性別・年齢階級別登録状況

(1) 性別・年齢階級別登録状況

年齢階級別では、男は 70 歳代、女は 80 歳代の登録件数が最多であった。

男女ともに 70 歳代～80 歳代の占める割合が半数を超えた。(図 2)

図2 性別年齢階級別登録件数



(2) 病型別・初再発別・性別・年齢階級別登録状況

脳出血

初発の性別・年齢階級別登録件数では、男性は60歳代、女性は80歳代が最多であった。(図3)

再発の性別・年齢階級別登録件数では、男性は60歳代及び70歳代が最も多く、女性は80歳代が最多であった。(図4)

図3 性別年齢階級別登録件数 (脳出血、初発)

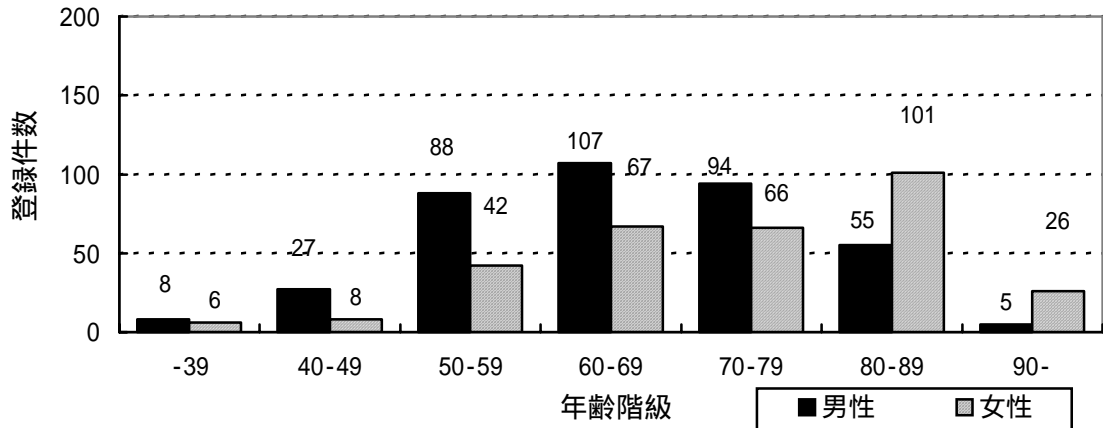
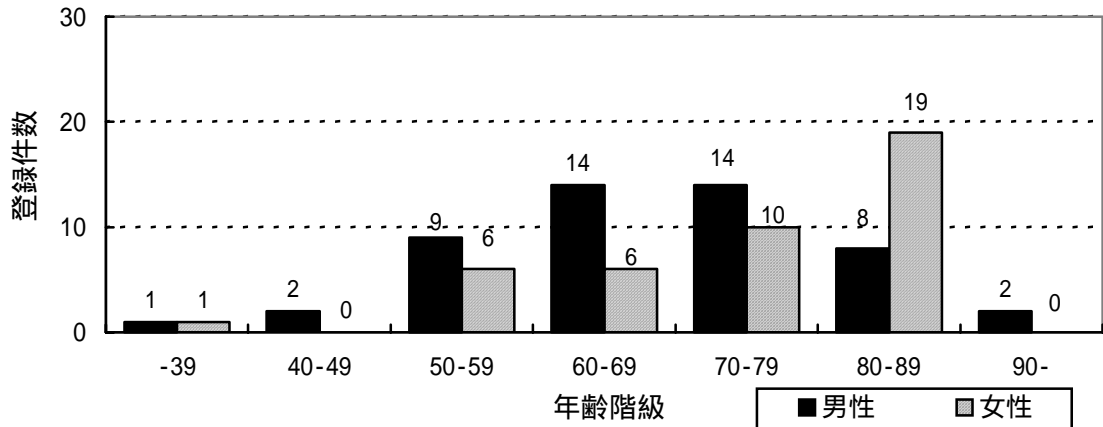


図4 性別年齢階級別登録件数 (脳出血、再発)



くも膜下出血

初発の性別・年齢階級別登録件数では、男性は60歳代、女性は70歳代が最多であった。(図5)

再発の性別・年齢階級別登録件数は図6のとおりであった。

図5 性別年齢階級別登録件数(くも膜下出血、初発)

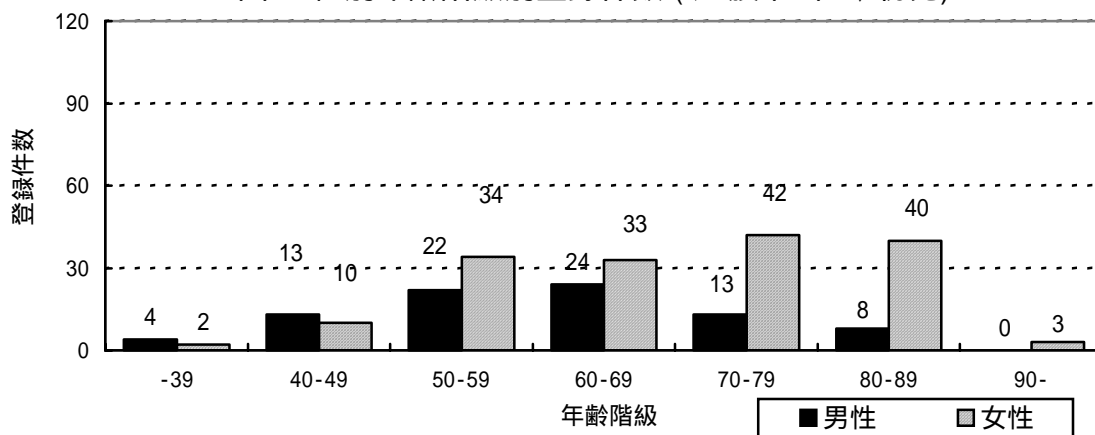
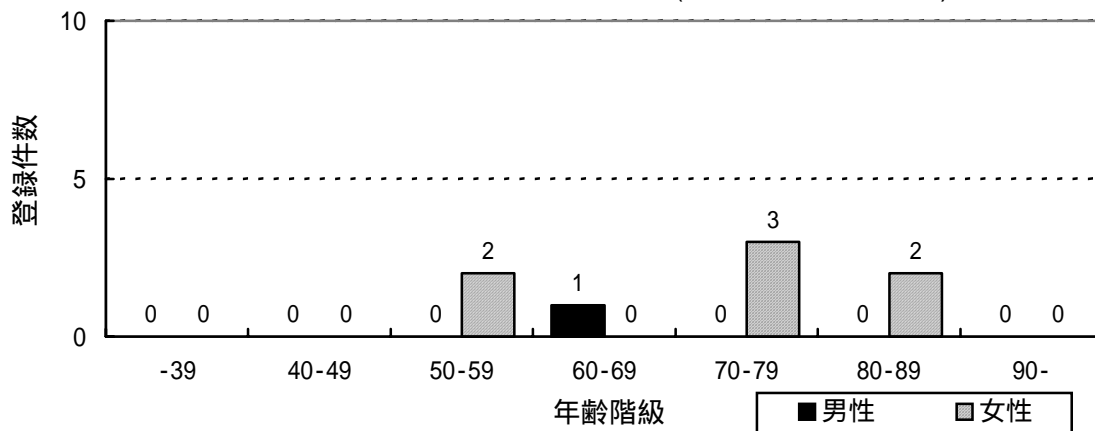


図6 性別年齢階級別登録件数(くも膜下出血、再発)



脳梗塞

初発の性別・年齢階級別登録件数では、男性は70歳代、女性は80歳代が最多であった。(図7)

再発の性別・年齢階級別登録件数でも、同様に男性は70歳代、女性は80歳代が最多であった。(図8)

図7 性別年齢階級別登録件数 (脳梗塞、初発)

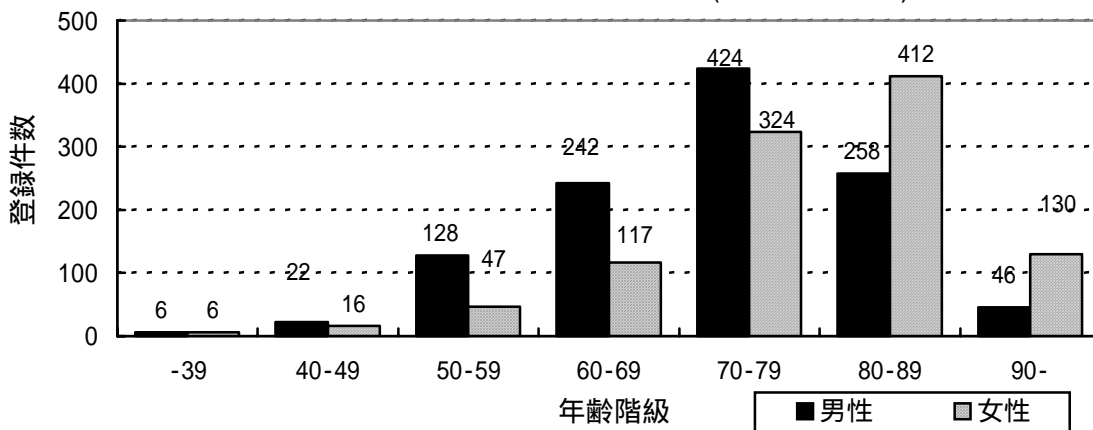
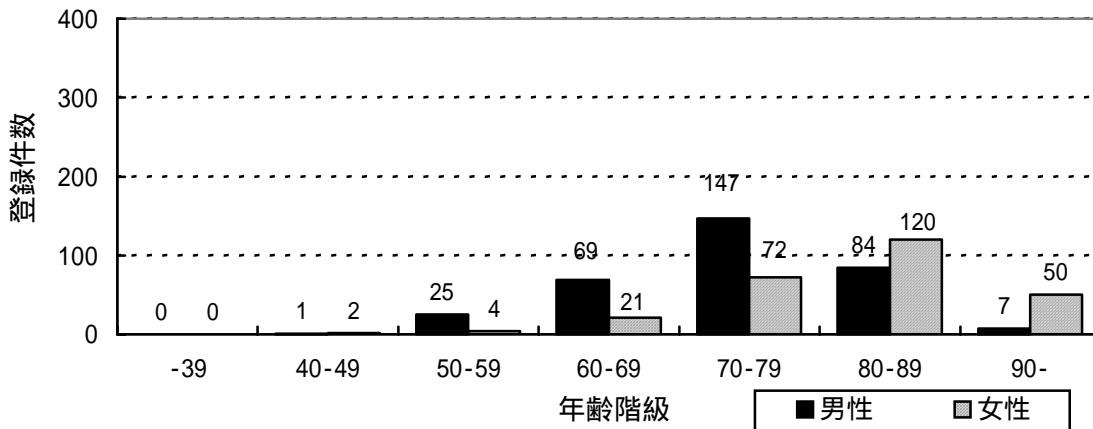


図8 性別年齢階級別登録件数 (脳梗塞、再発)



T I A（一過性脳虚血発作）

初発の性別・年齢階級別登録件数では、男女ともに80歳代が最多であった。（図9）

再発の性別・年齢階級別登録件数は図10のとおりであった。

図9 性別年齢階級別登録件数 (TIA、初発)

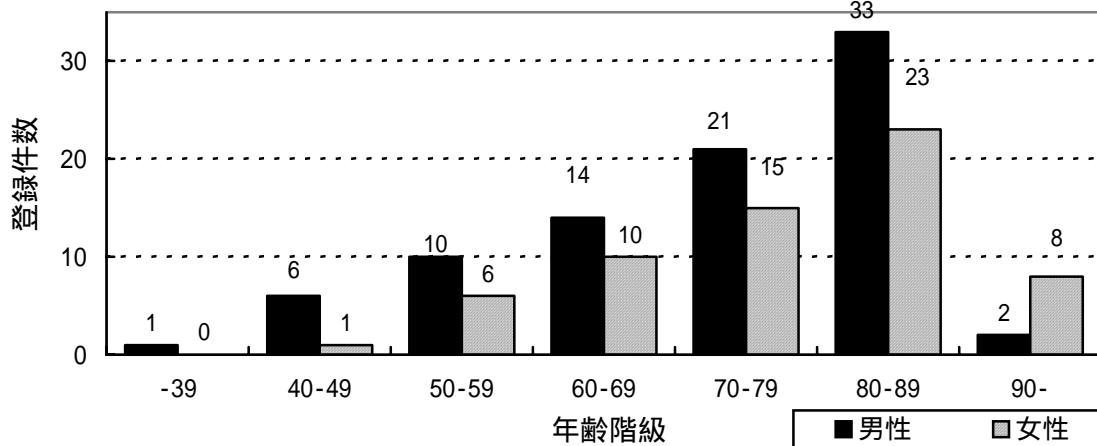
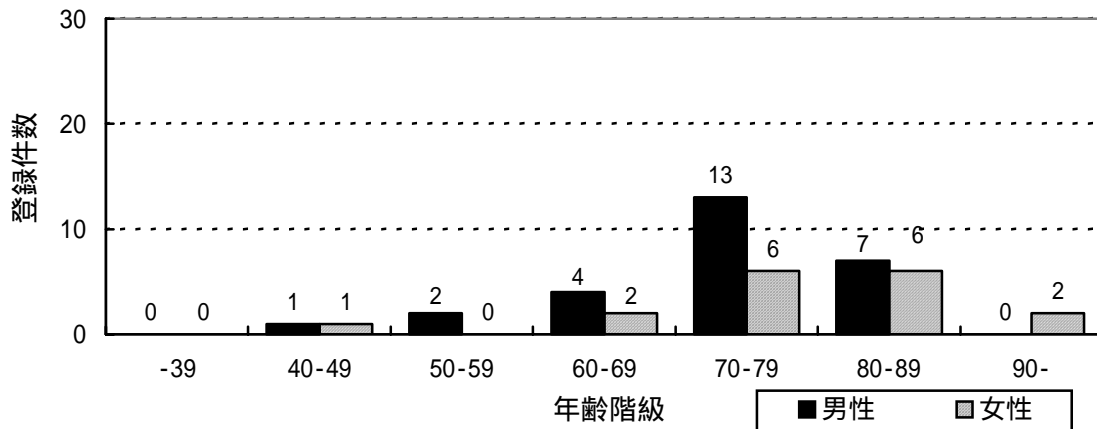


図10 性別年齢階級別登録件数 (TIA、再発)



6 受診直後の患者措置の状況

医療機関で診断を受けた後の患者措置の状況は、入院する割合が男性 84.4% (1,812/2,147 件)、女性 84.6% (1,691/1,998 件)、計 84.5%と高い。

全登録に占める割合は、受診後の死亡が 2.4% (98/4,145 件)、在宅が 12.4% (515/4,145 件)であるが、病型別にみると、受診後死亡の占める割合は脳出血 3.6% (29/803 件)及びくも膜下出血 5.1% (13/257 件)で比較的高く、脳梗塞では在宅の占める割合が 15.5% (446/2,882 件)と高い傾向がみられた。

図12 病型別受診後の患者措置 (男性)

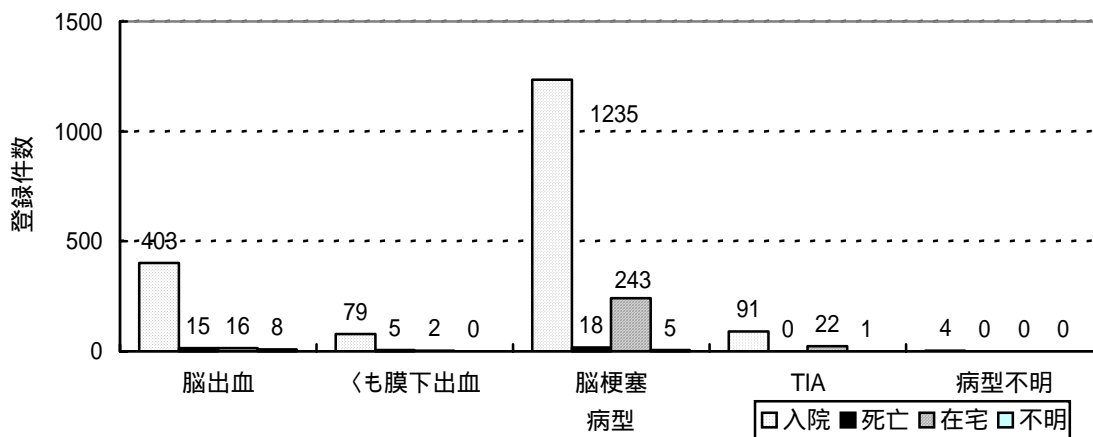
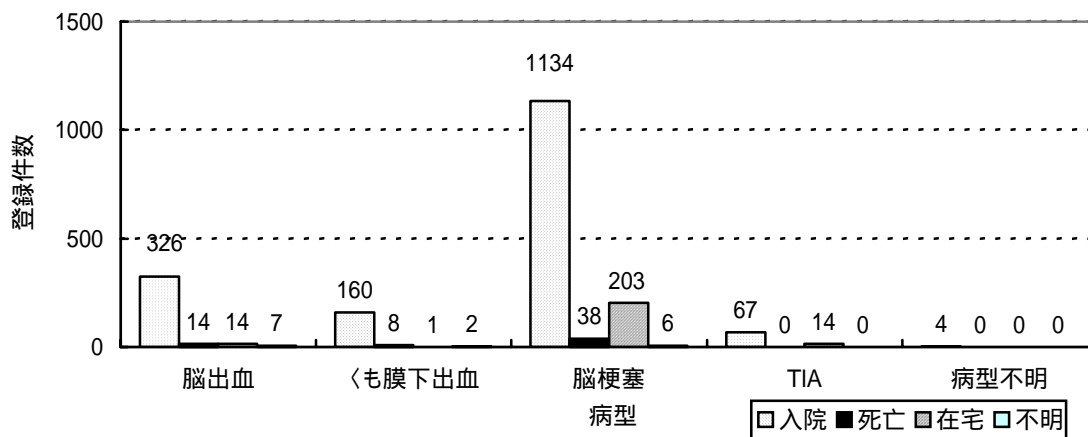


図13 病型別受診後の患者措置 (女性)



脳卒中発症登録事業状況（発症登録様式1A号に基づく発症登録）

県内の専門医療機関を中心に提供された脳卒中患者（死亡を含む。）の発症登録の状況は次のとおりである。

ここでは脳卒中登録様式1A号に基づき情報提供された脳卒中患者情報のうち、平成18年4月1日から平成19年3月31日までの発症として登録したものについて扱う。

病型別・初発再発別登録状況

表1 登録状況(病型別)

診断病型	初発	再発	未記入	総計
脳出血	472	72		544
くも膜下出血	196	7		203
脳梗塞合計	973	386	1	1360
脳梗塞-アテローム血栓性梗塞	334	134		468
脳梗塞-ラクナ梗塞	299	121		420
脳梗塞-心原性脳塞栓	172	67		239
脳梗塞-その他の脳梗塞	25	12		37
脳梗塞-病型不明の脳梗塞	37	15		52
脳梗塞-他記入なし	106	37	1	144
TIA	71	36		107
病型不明の脳卒中	6	1		7
総計	1718	502	1	2221

表2 登録状況(性別・年齢別)

年齢区分	男	女	総計
-19	1	1	2
20-24	3	2	5
25-29			
30-34	2	3	5
35-39	10	4	14
40-44	15	7	22
45-49	37	17	54
50-54	68	29	97
55-59	134	66	200
60-64	124	68	192
65-69	163	94	257
70-74	205	125	330
75-79	207	159	366
80-84	148	203	351
85-89	73	146	219
90-94	25	67	92
95-99	3	11	14
100-		1	1
総計	1218	1003	2221

受診後の措置（入院、在宅、死亡）の状況

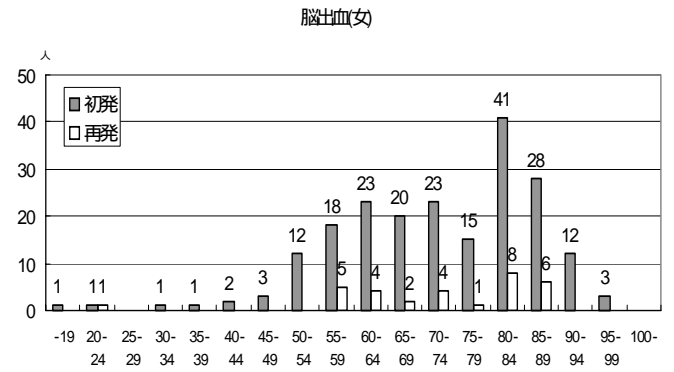
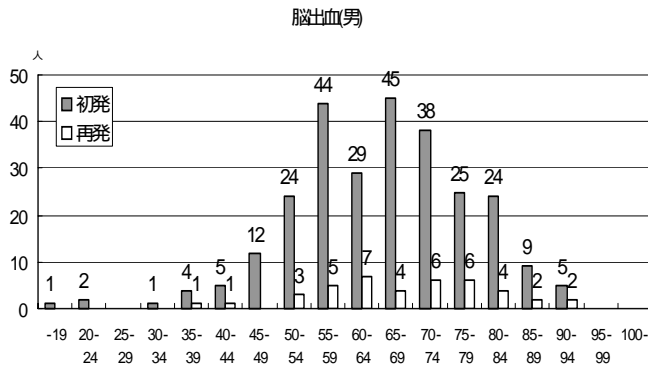
表3 受診後措置(性別・年齢別)

男	年齢区分					総計
	入院	在宅	死亡	未記入等		
-19		1			1	
20-24	3				3	
25-29						
30-34	1	1			2	
35-39	10				10	
40-44	13	2			15	
45-49	36	1			37	
50-54	65	3			68	
55-59	122	12			134	
60-64	111	13			124	
65-69	153	10			163	
70-74	188	16		1	205	
75-79	191	16			207	
80-84	138	9	1		148	
85-89	69	4			73	
90-94	24	1			25	
95-99	3				3	
100-						
合計	1127	89	1	1	1218	

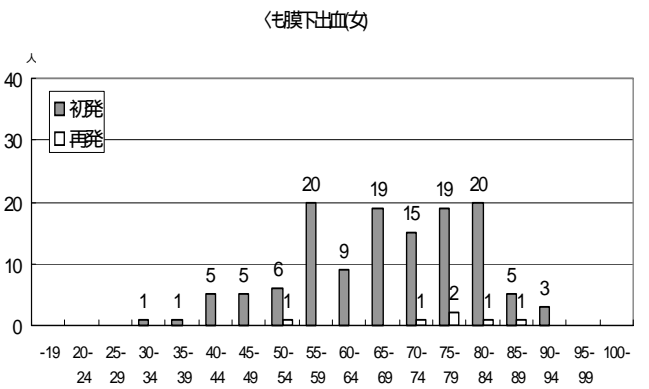
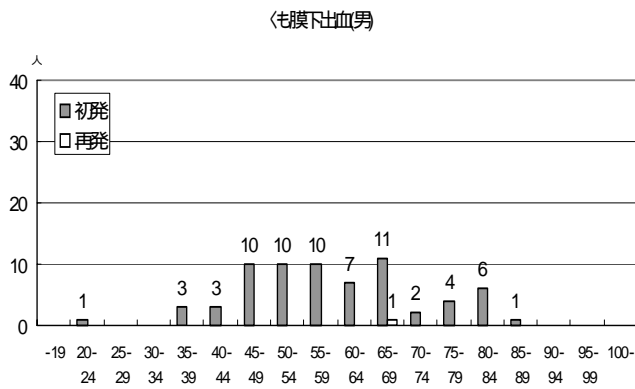
女	年齢区分					総計
	入院	在宅	死亡	未記入等		
-19	1				1	
20-24	2				2	
25-29						
30-34	3				3	
35-39	3	1			4	
40-44	7				7	
45-49	16			1	17	
50-54	27	2			29	
55-59	62	2		2	66	
60-64	63	5			68	
65-69	84	10			94	
70-74	124	1			125	
75-79	150	8		1	159	
80-84	196	5	1	1	203	
85-89	137	8	1		146	
90-94	65	2			67	
95-99	11				11	
100-	1				1	
合計	952	44	2	5	1003	

病型別・性別・年齢別登録状況

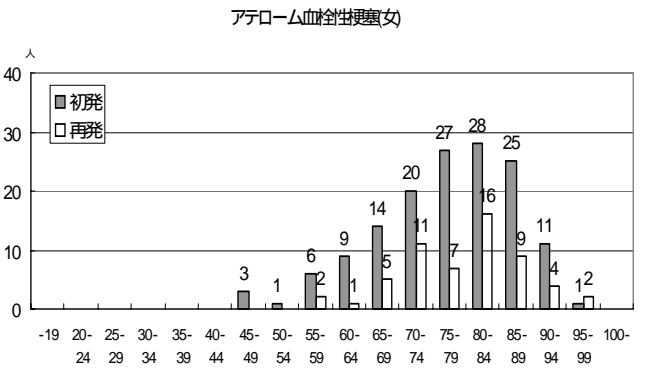
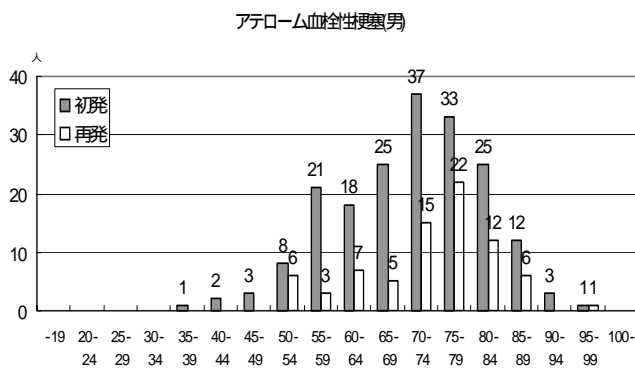
(1) 脳出血



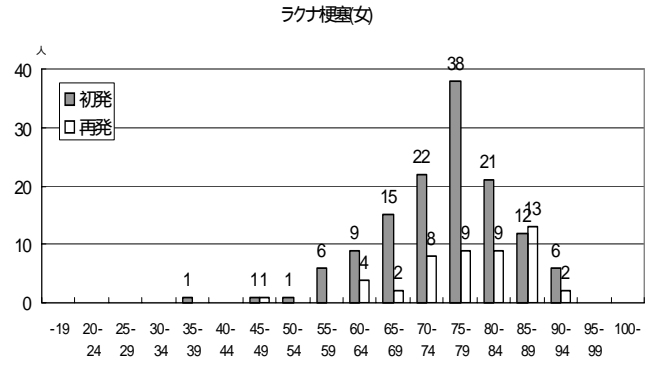
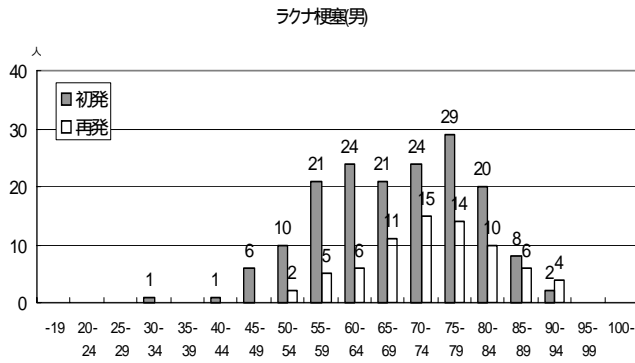
(2) くも膜下出血



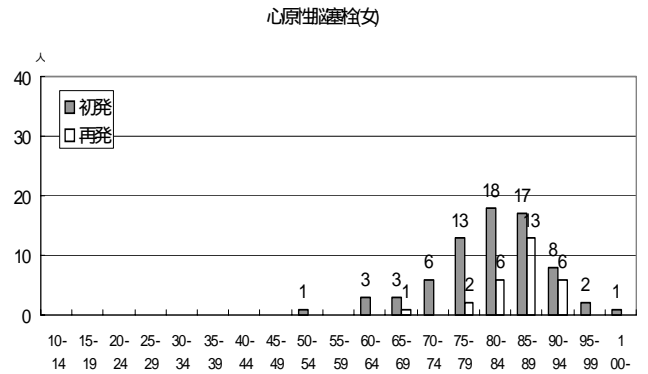
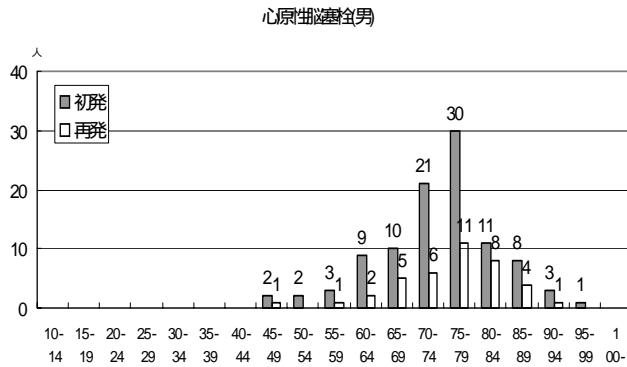
(3) アテローム血栓性梗塞



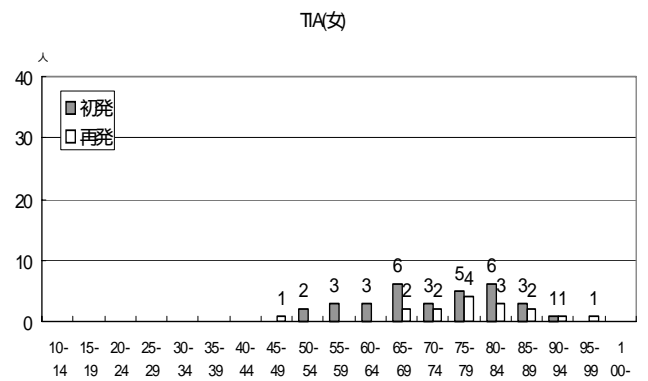
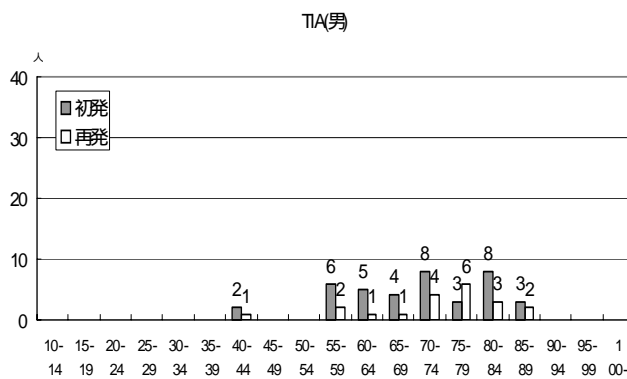
(4) ラクナ梗塞



(5) 心原性脳塞栓



(6) T I A (一過性脳虚血発作)



受診までの経過時間

発症から3時間以内の受診は全体の35%（男34%、女36%）であった（図1）。

病型別にみると（図2）脳出血及びくも膜下出血で3時間以内に受診する者の割合が高かった。一方、脳梗塞合計*における3時間以内の受診は25%であり、他の病型に比べ発症からの経過時間が長い傾向がみられた。紹介元の有無別にみた経過時間は図3のとおりであった。

* アテローム血栓性梗塞、ラクナ梗塞、心原性脳塞栓、その他の脳梗塞、病型不明の脳梗塞、他記入なしの合計

図1 受診までの経過時間(性別)

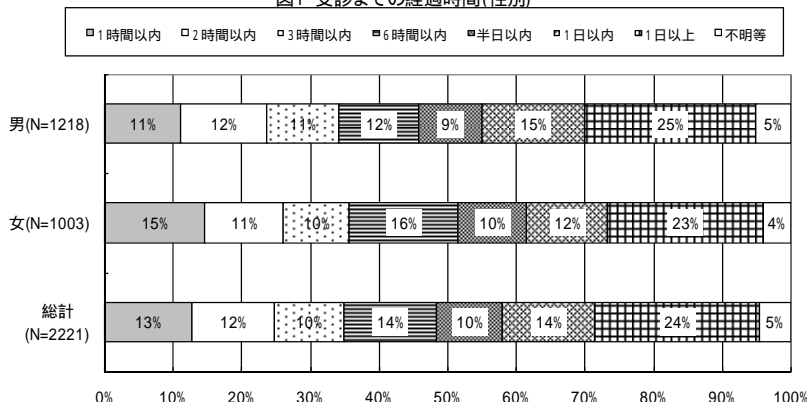


図2 受診までの経過時間(診断病型別)

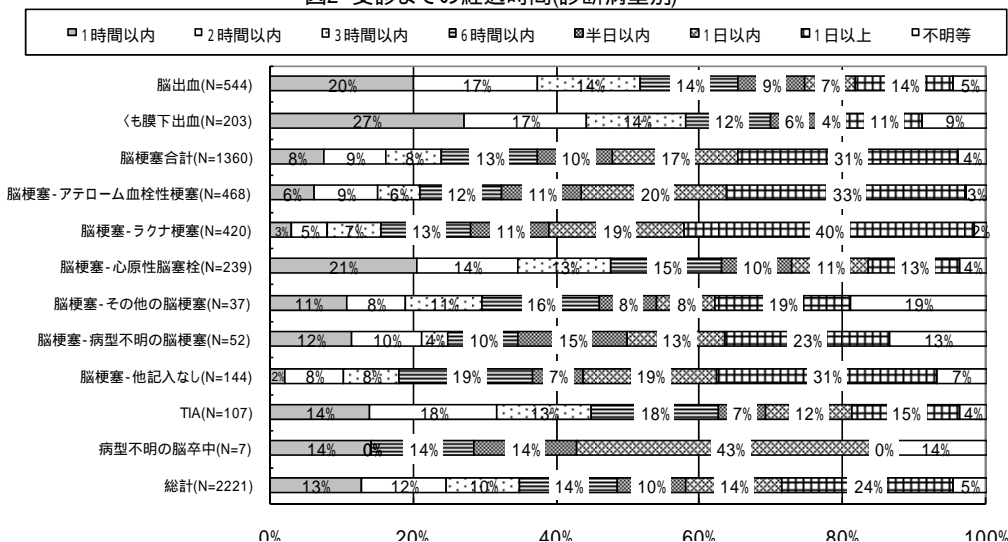
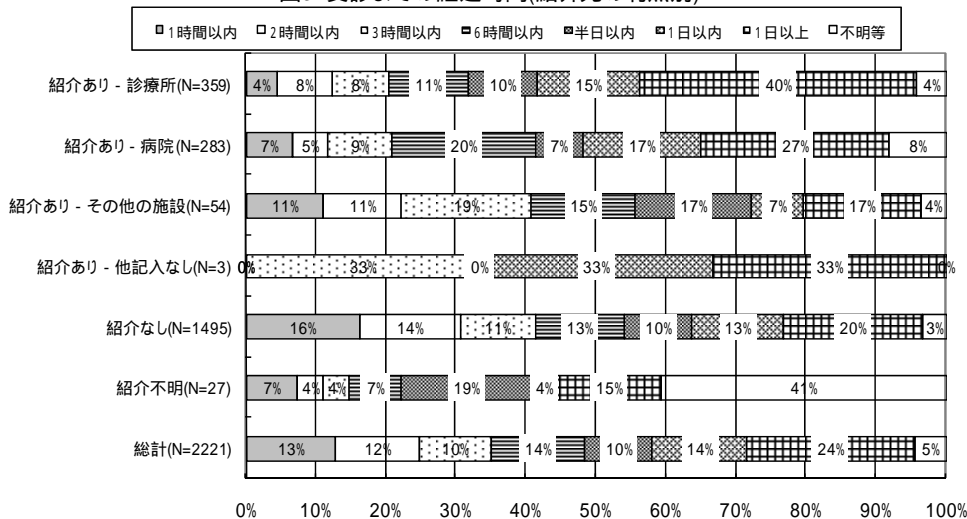


図3 受診までの経過時間(紹介元の有無別)



紹介元の有無

病型別にみた紹介元の有無は表4のとおりであった。

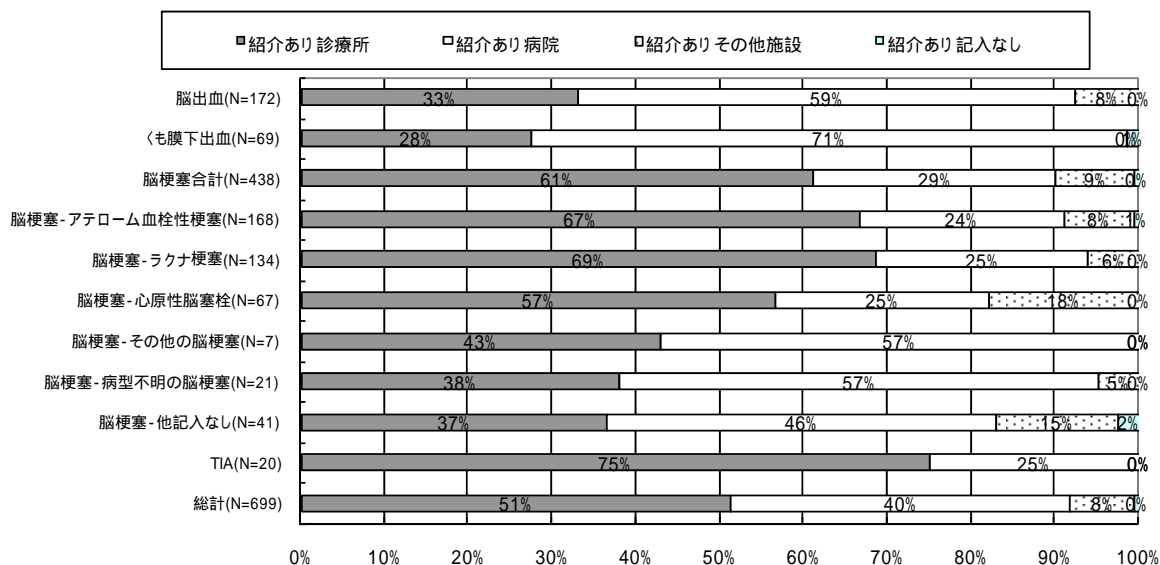
表4 紹介元の有無(病型別)

	登録数	紹介あり	紹介なし	紹介不明
脳出血	544	172 (31.6%)	372 (68.4%)	0 (0.0%)
くも膜下出血	203	69 (34.0%)	128 (63.1%)	6 (3.0%)
脳梗塞合計	1360	438 (32.2%)	904 (66.5%)	18 (1.3%)
脳梗塞-アテローム血栓性梗塞	468	168 (35.9%)	297 (63.5%)	3 (0.6%)
脳梗塞-ラクナ梗塞	420	134 (31.9%)	282 (67.1%)	4 (1.0%)
脳梗塞-心原性脳塞栓	239	67 (28.0%)	168 (70.3%)	4 (1.7%)
脳梗塞-その他の脳梗塞	37	7 (18.9%)	26 (70.3%)	4 (10.8%)
脳梗塞-病型不明の脳梗塞	52	21 (40.4%)	31 (59.6%)	0 (0.0%)
脳梗塞-他記入なし	144	41 (28.5%)	100 (69.4%)	3 (2.1%)
TIA	107	20 (18.7%)	85 (79.4%)	2 (1.9%)
病型不明の脳卒中	7	0 (0.0%)	6 (85.7%)	1 (14.3%)
総計	2221	699 (31.5%)	1495 (67.3%)	27 (1.2%)

「紹介あり」のうち、紹介元の種類別にみた状況は図4のとおりであった。

脳出血及びくも膜下出血では「病院」(脳神経外科、神経内科以外の内科を含む)が多く、脳梗塞では「診療所」からの紹介が多かった。

図4 種類別にみた紹介元の状況(病型別)



受診の手段

全体では「救急車(消防)」(48.3%)が最も多く、次いで「自家用車等」(46.4%)が多かった。病型別にみると、脳出血及びくも膜下出血では「救急車(消防)」による受診が約7割を占め、脳梗塞では「自家用車等」による受診が多かった。特にラクナ梗塞では79.0%が自家用車等で受診していた。

表5 受診の手段(病型別)

	登録数	院内発症	救急車(消防)	救急車(他医療機関)	自家用車等	不明等
脳出血	544	3 (0.6%)	396 (72.8%)	5 (0.9%)	130 (23.9%)	10 (1.8%)
くも膜下出血	203	1 (0.5%)	158 (77.8%)	1 (0.5%)	38 (18.7%)	5 (2.5%)
脳梗塞合計	1360	28 (2.1%)	467 (34.3%)	18 (1.3%)	804 (59.1%)	43 (3.2%)
脳梗塞-アテローム血栓性梗塞	468	7 (1.5%)	159 (34.0%)	8 (1.7%)	285 (60.9%)	9 (1.9%)
脳梗塞-ラクナ梗塞	420	3 (0.7%)	74 (17.6%)	3 (0.7%)	332 (79.0%)	8 (1.9%)
脳梗塞-心原性脳塞栓	239	5 (2.1%)	153 (64.0%)	4 (1.7%)	76 (31.8%)	1 (0.4%)
脳梗塞-その他の脳梗塞	37	2 (5.4%)	19 (51.4%)	(0.0%)	12 (32.4%)	4 (10.8%)
脳梗塞-病型不明の脳梗塞	52	7 (13.5%)	17 (32.7%)	(0.0%)	22 (42.3%)	6 (11.5%)
脳梗塞-他記入なし	144	4 (2.8%)	45 (31.3%)	3 (2.1%)	77 (53.5%)	15 (10.4%)
TIA	107	(0.0%)	48 (44.9%)	(0.0%)	57 (53.3%)	2 (1.9%)
病型不明の脳卒中	7	1 (14.3%)	4 (57.1%)	(0.0%)	2 (28.6%)	(0.0%)
総計	2221	33 (1.5%)	1073 (48.3%)	24 (1.1%)	1031 (46.4%)	60 (2.7%)

意識障害の程度別にみると、重症例ほど救急車による受診の占める割合が高かった。

「意識障害あり」における自家用車等での搬送割合は、JCS (刺激しないでも覚醒している状態)で36.7%、JCS (刺激すると覚醒する状態、刺激をやめると眠り込む状態)で11.9%、JCS (刺激しても覚醒しない状態)で5.5%であった。

表6 受診の手段(意識障害の程度別)

	登録数	院内発症	救急車(消防)	救急車(他医療機関)	自家用車等	不明等
あり-JCS	528	7 (1.3%)	303 (57.4%)	12 (2.3%)	194 (36.7%)	12 (2.3%)
あり-JCS	277	11 (4.0%)	228 (82.3%)	2 (0.7%)	33 (11.9%)	3 (1.1%)
あり-JCS	218	4 (1.8%)	197 (90.4%)	4 (1.8%)	12 (5.5%)	1 (0.5%)
あり-JCS未記入	7	(0.0%)	4 (57.1%)	(0.0%)	3 (42.9%)	0 (0.0%)
なし	1143	8 (0.7%)	330 (28.9%)	6 (0.5%)	775 (67.8%)	24 (2.1%)
不明等	48	3 (6.3%)	11 (22.9%)	(0.0%)	14 (29.2%)	20 (41.7%)
総計	2221	33 (1.5%)	1073 (48.3%)	24 (1.1%)	1031 (46.4%)	60 (2.7%)

診断に利用した検査

診断に利用した検査の状況（複数回答）は表7及び表8のとおりであった。

表7 診断に用いた検査(病型別)

	登録数	MRI	MRA	CT	CTA	血管撮影	髄液検査
脳出血	544	133 (24.4%)	55 (10.1%)	523 (96.1%)	(0.0%)	17 (3.1%)	(0.0%)
くも膜下出血	203	23 (11.3%)	32 (15.8%)	197 (97.0%)	10 (4.9%)	75 (36.9%)	1 (0.5%)
脳梗塞合計	1360	1192 (87.6%)	553 (40.7%)	623 (45.8%)	8 (0.6%)	10 (0.7%)	0 (0.0%)
脳梗塞-アテローム血栓性梗塞	468	426 (91.0%)	239 (51.1%)	208 (44.4%)	4 (0.9%)	2 (0.4%)	(0.0%)
脳梗塞-ラクナ梗塞	420	386 (91.9%)	185 (44.0%)	142 (33.8%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)
脳梗塞-心原性脳塞栓	239	197 (82.4%)	99 (41.4%)	129 (54.0%)	(0.0%)	1 (0.4%)	(0.0%)
脳梗塞-その他の脳梗塞	37	25 (67.6%)	12 (32.4%)	20 (54.1%)	1 (2.7%)	2 (5.4%)	(0.0%)
脳梗塞-病型不明の脳梗塞	52	32 (61.5%)	9 (17.3%)	25 (48.1%)	3 (5.8%)	1 (1.9%)	(0.0%)
脳梗塞-他記入なし	144	126 (87.5%)	9 (6.3%)	99 (68.8%)	(0.0%)	4 (2.8%)	(0.0%)
TIA	107	94 (87.9%)	32 (29.9%)	46 (43.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)
病型不明の脳卒中	7	7 (100.0%)	1 (14.3%)	5 (71.4%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)
総計	2221	1449 (65.2%)	673 (30.3%)	1394 (62.8%)	18 (0.8%)	102 (4.6%)	1 (0.0%)

	登録数	頸動脈エコー	脳波	心電図	心エコー	ホルター心電図
脳出血	544	5 (0.9%)	1 (0.2%)	114 (21.0%)	6 (1.1%)	(0.0%)
くも膜下出血	203	(0.0%)	(0.0%)	37 (18.2%)	1 (0.5%)	(0.0%)
脳梗塞合計	1360	148 (10.9%)	7 (0.5%)	412 (30.3%)	98 (7.2%)	37 (2.7%)
脳梗塞-アテローム血栓性梗塞	468	70 (15.0%)	2 (0.4%)	90 (19.2%)	18 (3.8%)	5 (1.1%)
脳梗塞-ラクナ梗塞	420	33 (7.9%)	4 (1.0%)	77 (18.3%)	16 (3.8%)	2 (0.5%)
脳梗塞-心原性脳塞栓	239	30 (12.6%)	(0.0%)	128 (53.6%)	53 (22.2%)	24 (10.0%)
脳梗塞-その他の脳梗塞	37	4 (10.8%)	(0.0%)	10 (27.0%)	3 (8.1%)	1 (2.7%)
脳梗塞-病型不明の脳梗塞	52	6 (11.5%)	1 (1.9%)	8 (15.4%)	5 (9.6%)	4 (7.7%)
脳梗塞-他記入なし	144	5 (3.5%)	(0.0%)	99 (68.8%)	3 (2.1%)	1 (0.7%)
TIA	107	6 (5.6%)	(0.0%)	27 (25.2%)	4 (3.7%)	3 (2.8%)
病型不明の脳卒中	7	1 (14.3%)	(0.0%)	2 (28.6%)	(0.0%)	1 (14.3%)
総計	2221	160 (7.2%)	8 (0.4%)	592 (26.7%)	109 (4.9%)	41 (1.8%)

表8 診断に用いた検査(意識障害別)

	登録数	MRI	MRA	CT	CTA	血管撮影	髄液検査
あり-JCS	528	304 (57.6%)	128 (24.2%)	389 (73.7%)	7 (1.3%)	34 (6.4%)	(0.0%)
あり-JCS	277	126 (45.5%)	67 (24.2%)	235 (84.8%)	4 (1.4%)	20 (7.2%)	(0.0%)
あり-JCS	218	49 (22.5%)	15 (6.9%)	204 (93.6%)	3 (1.4%)	24 (11.0%)	(0.0%)
あり-JCS未記入	7	3 (42.9%)	(0.0%)	6 (85.7%)	(0.0%)	2 (28.6%)	(0.0%)
なし	1143	943 (82.5%)	452 (39.5%)	545 (47.7%)	4 (0.3%)	19 (1.7%)	1 (0.1%)
不明等	48	24 (50.0%)	11 (22.9%)	15 (31.3%)	(0.0%)	3 (6.3%)	(0.0%)
総計	2221	1449 (65.2%)	673 (30.3%)	1394 (62.8%)	18 (0.8%)	102 (4.6%)	1 (0.0%)

	登録数	頸動脈エコー	脳波	心電図	心エコー	ホルター心電図
あり-JCS	528	31 (5.9%)	1 (0.2%)	146 (27.7%)	31 (5.9%)	9 (1.7%)
あり-JCS	277	18 (6.5%)	1 (0.4%)	90 (32.5%)	19 (6.9%)	7 (2.5%)
あり-JCS	218	(0.0%)	(0.0%)	40 (18.3%)	4 (1.8%)	1 (0.5%)
あり-JCS未記入	7	(0.0%)	(0.0%)	2 (28.6%)	(0.0%)	(0.0%)
なし	1143	111 (9.7%)	6 (0.5%)	306 (26.8%)	55 (4.8%)	24 (2.1%)
不明等	48	(0.0%)	(0.0%)	8 (16.7%)	(0.0%)	(0.0%)
総計	2221	160 (7.2%)	8 (0.4%)	592 (26.7%)	109 (4.9%)	41 (1.8%)

リハビリテーションの状況

リハビリテーション「実施あり」の割合は全体の 64.1%であった。病型別にみると、アテローム血栓性梗塞で最も実施割合が高かった（表 9）。

意識障害の程度別にみた実施状況は表 10 のとおりであった。併せて、理学療法・作業療法・言語療法の各種類別にみた状況（複数回答）を表 11 に示す。

表9 リハビリの実施状況(病型別)

診断病型	総計	実施	未実施	不明等	実施割合
脳出血	544	375	143	26	68.9%
くも膜下出血	203	102	97	4	50.2%
脳梗塞合計	1360	920	324	116	67.6%
脳梗塞-アテローム血栓性梗塞	468	350	88	30	74.8%
脳梗塞-ラクナ梗塞	420	256	110	54	61.0%
脳梗塞-心原性脳塞栓	239	159	67	13	66.5%
脳梗塞-その他の脳梗塞	37	20	13	4	54.1%
脳梗塞-病型不明の脳梗塞	52	38	12	2	73.1%
脳梗塞-他記入なし	144	97	34	13	67.4%
TIA	107	24	69	14	22.4%
病型不明の脳卒中	7	3	4		42.9%
総計	2221	1424	637	160	64.1%

表10 リハビリの実施状況(意識障害の程度別)

診断病型	総計	実施	未実施	不明等	実施割合
あり-JCS	528	388	124	16	73.5%
あり-JCS	277	215	53	9	77.6%
あり-JCS	218	86	118	14	39.4%
あり-JCS未記入	7	1	5	1	14.3%
なし	1143	709	322	112	62.0%
不明等	48	25	15	8	52.1%
総計	2221	1424	637	160	64.1%

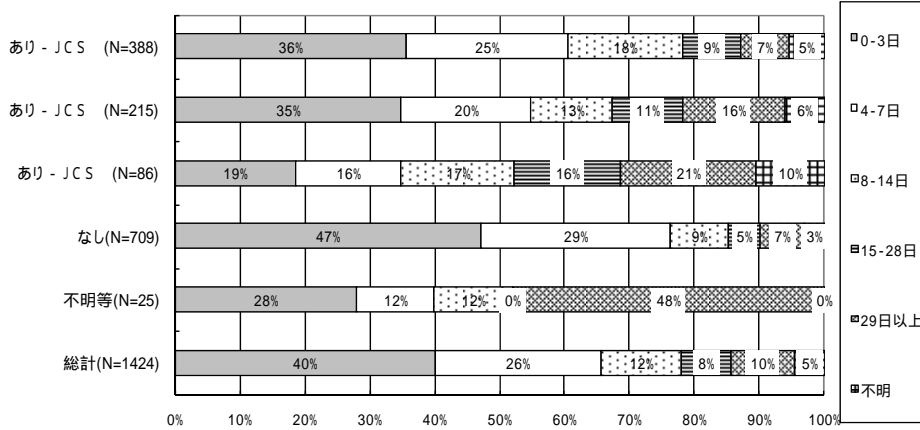
表11 リハビリの実施状況(リハビリの種類別)

	登録数	理学療法	作業療法	言語療法
脳出血	544	372 (68.4%)	230 (42.3%)	158 (29.0%)
くも膜下出血	203	101 (49.8%)	46 (22.7%)	27 (13.3%)
脳梗塞合計	1360	908 (66.8%)	582 (42.8%)	390 (28.7%)
脳梗塞-アテローム血栓性梗塞	468	343 (73.3%)	269 (57.5%)	190 (40.6%)
脳梗塞-ラクナ梗塞	420	255 (60.7%)	162 (38.6%)	96 (22.9%)
脳梗塞-心原性脳塞栓	239	156 (65.3%)	95 (39.7%)	77 (32.2%)
脳梗塞-その他の脳梗塞	37	20 (54.1%)	12 (32.4%)	8 (21.6%)
脳梗塞-病型不明の脳梗塞	52	37 (71.2%)	22 (42.3%)	13 (25.0%)
脳梗塞-他記入なし	144	97 (67.4%)	22 (15.3%)	6 (4.2%)
TIA	107	21 (19.6%)	12 (11.2%)	4 (3.7%)
病型不明の脳卒中	7	2 (28.6%)	1 (14.3%)	2 (28.6%)
総計	2221	1404 (63.2%)	871 (39.2%)	581 (26.2%)

リハビリテーション開始までの日数

リハビリテーションを実施した1,424件中、推定発症日から3日以内のリハビリテーション開始は40%であった。意識障害の有無別にみると、3日以内の開始は「意識障害なし」の群で47%を占めた。また、「意識障害あり」のうち最も重度であるJCSの群でも、19%で3日以内にリハビリテーションが開始されていた（図5）。

図5 リハビリテーション開始までの日数(意識障害の程度別)



推定発症日から退院までの日数

発症から14日以内の退院が全体の25%を占めた。意識障害の有無別にみると（図6）、「意識障害なし」の群では発症から15日以上3週間以内が23%と最も多く、「意識障害あり」のうち、JCS及びJCSの群では「8週間以内」が最も多かった。一方、JCSの群においては、推定発症日から3日以内の退院（死亡退院を含む）が最多で22%を占めた。

退院時の状態別にみた日数は図7のとおりであった。

図6 推定発症日から退院までの日数(意識障害の程度別)

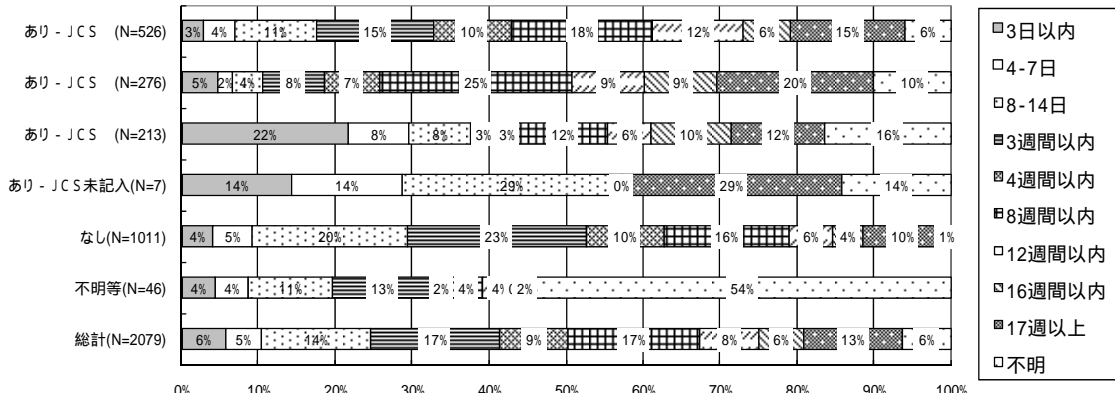
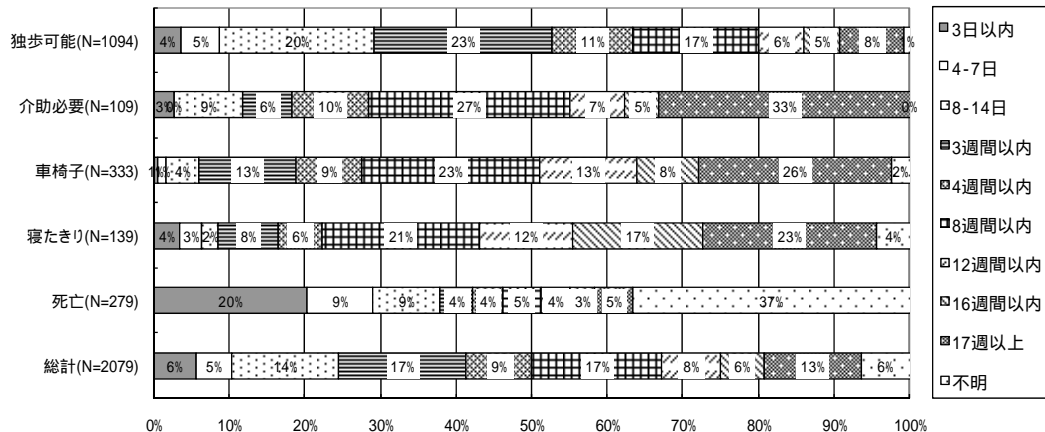


図7 発症推定日から退院までの日数(退院時の状態別)



退院後の患者措置の状況

退院後の患者措置の状況は図8のとおりであった。在宅への退院は全体の54%を占め、次いで医療機関への転院が16%であった。病型別にみると、在宅への退院割合が最も高かったのは脳梗塞（ラクナ梗塞）で67%であった。

退院時の状態別にみると、在宅への退院割合は「独歩可能」で86%、「介助必要」55%、「車椅子使用」で26%、「寝たきり」で5%であった（図9）。

図8 退院後の患者措置(病型別)

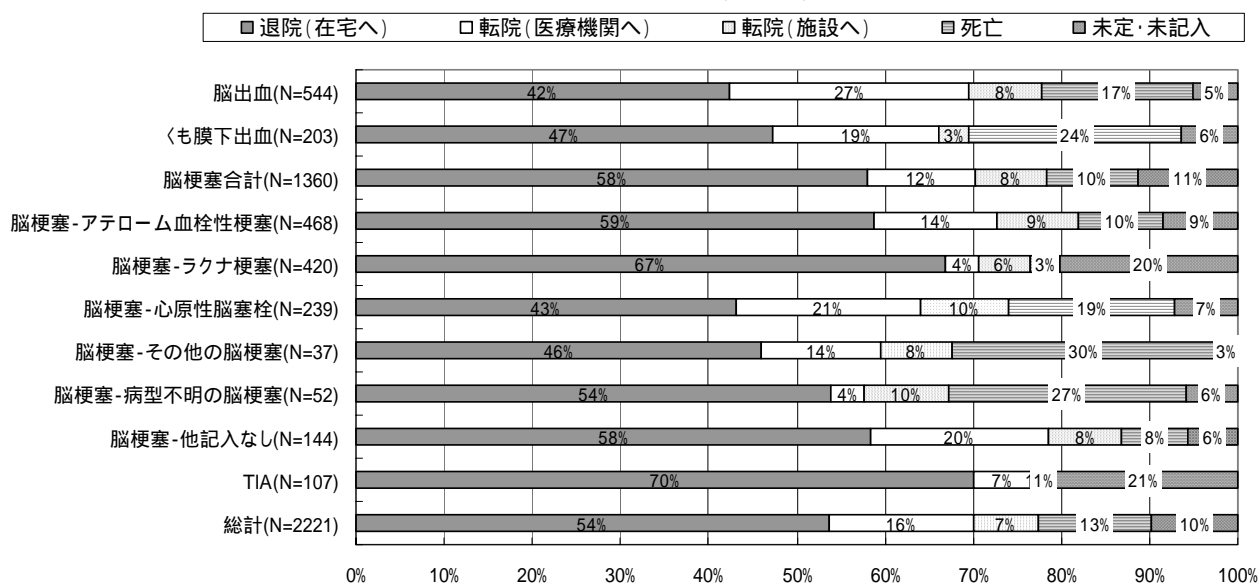
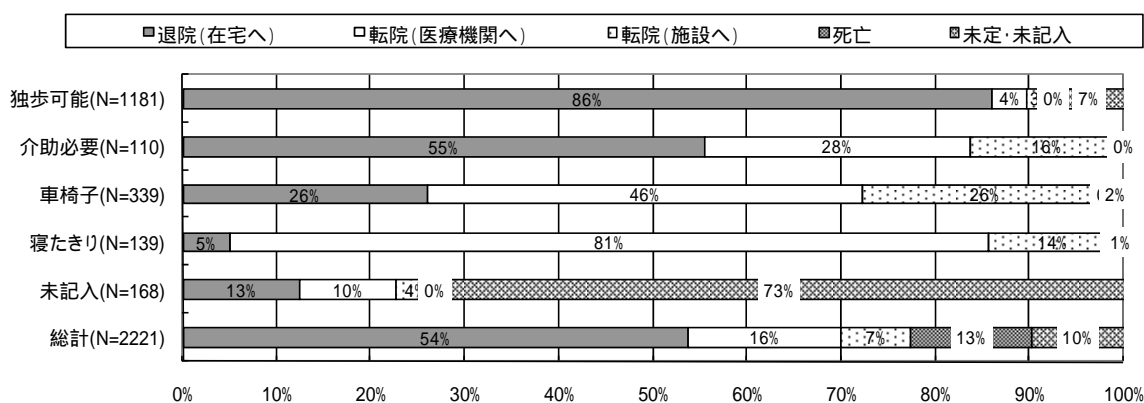


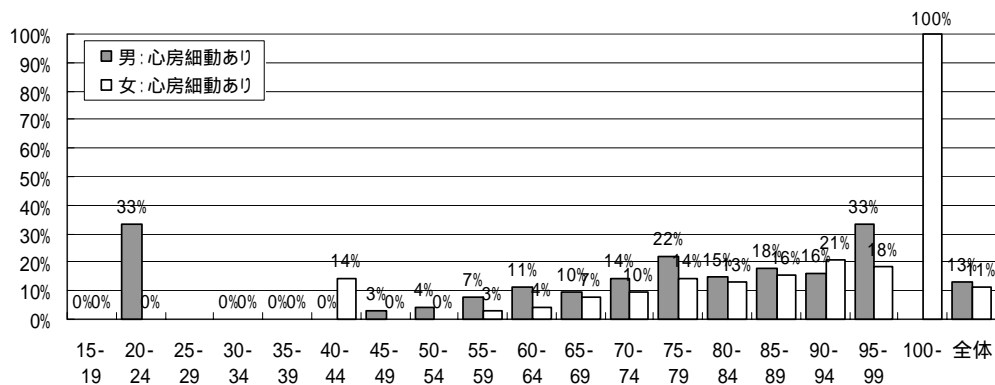
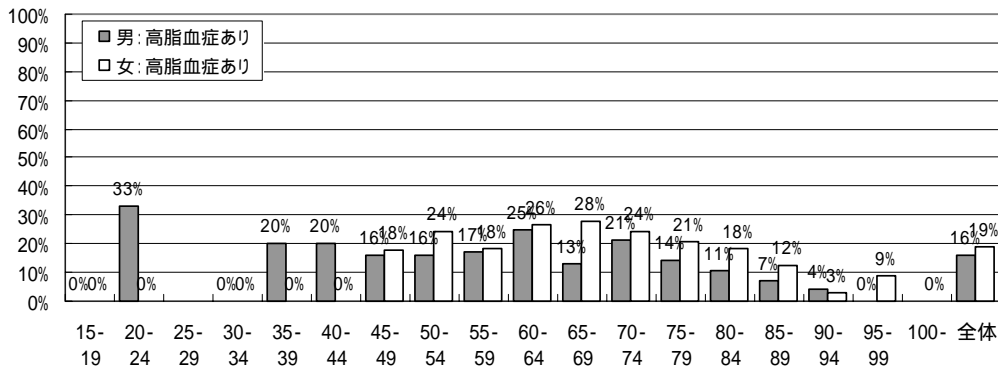
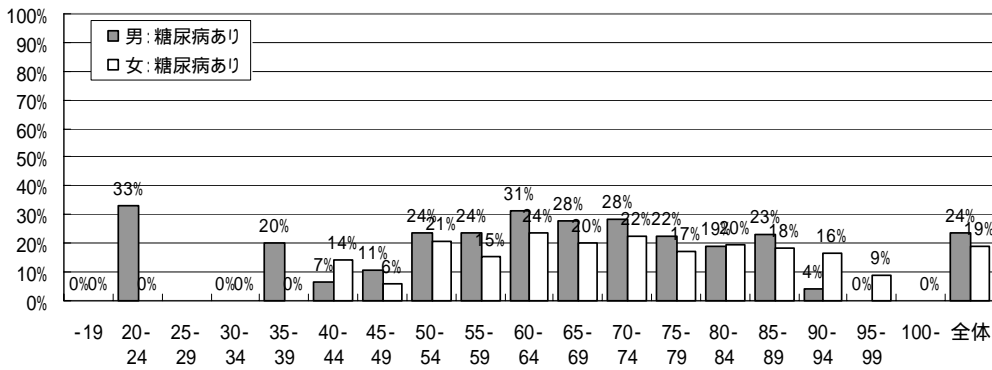
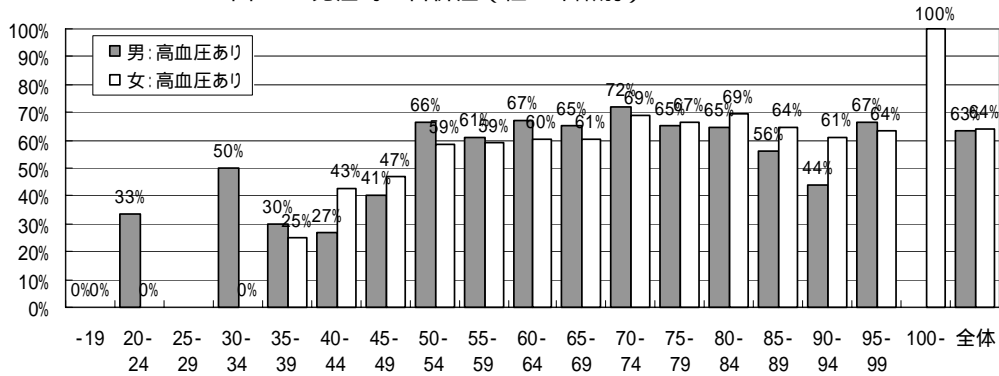
図9 退院後の患者措置(退院時の状態別)



発症時の合併症

発症時の合併症（高血圧、糖尿病、高脂血症、心房細動）の状況は図10のとおりであった。

図10 発症時の合併症（性・年齢別）



喫煙習慣の状況

発症時の喫煙習慣の状況は図 11 のとおりであった。

病型別にみると、脳出血において、喫煙習慣が「発症時まであり」の割合が 30% で高かった(図 12)。

図 11 発症時の喫煙習慣(性・年齢別)

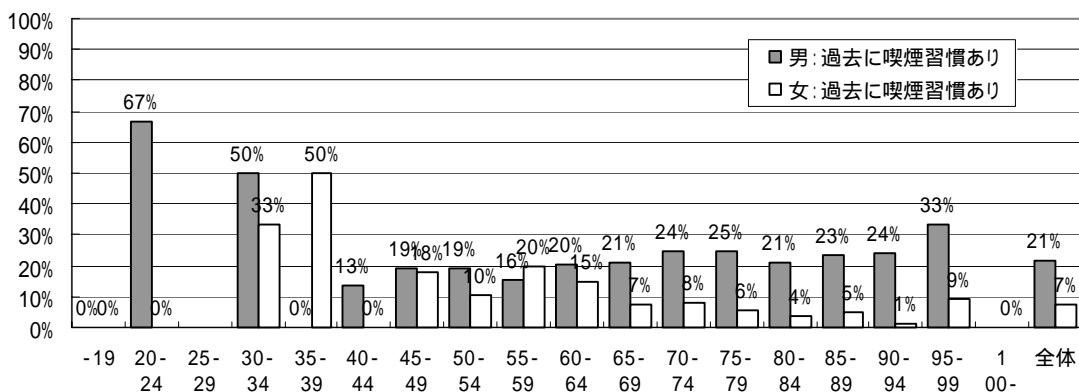
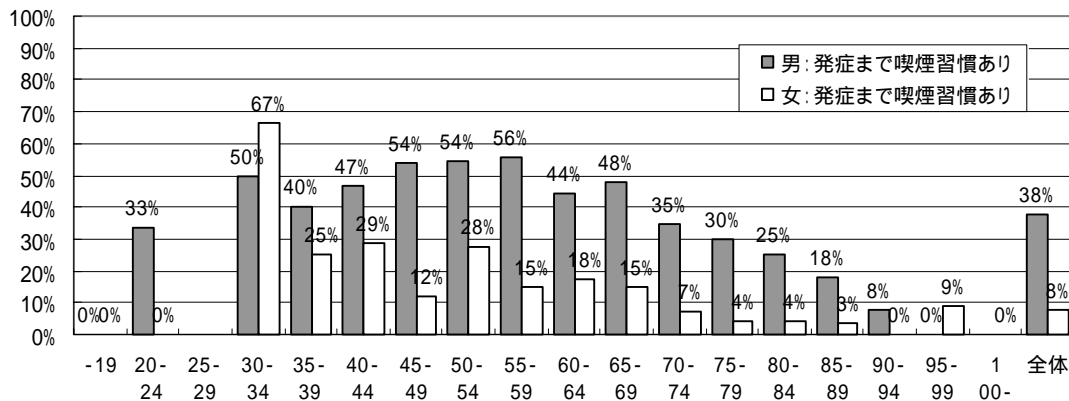
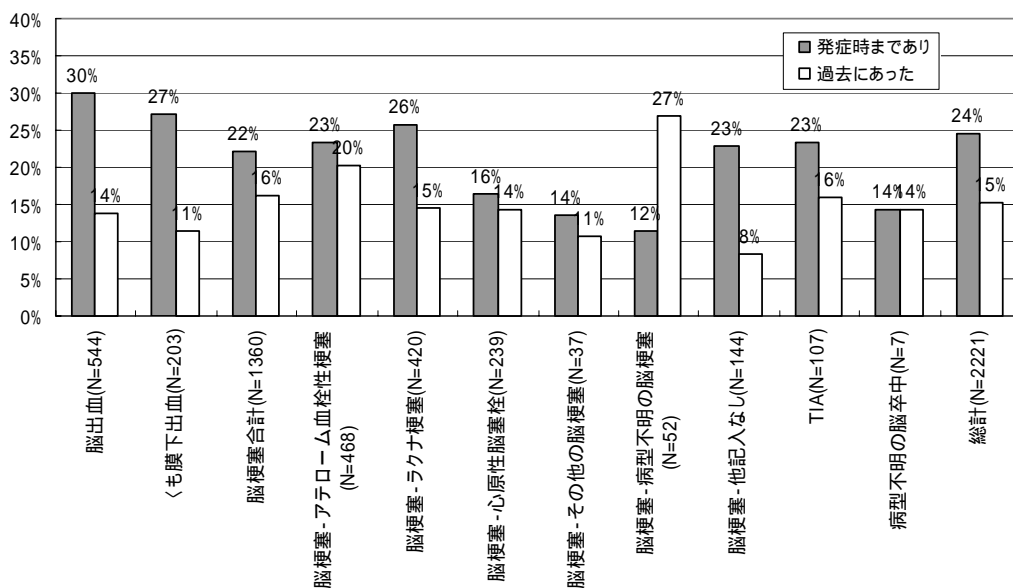


図 12 発症時の喫煙習慣



飲酒習慣の状況

発症時の飲酒習慣の状況は図 13 のとおりであった。

全体では「毎日飲酒」が 26% (男 41%、女 8%)、「機会飲酒」は 10% (男 15%、女 4%) であった (図 14)。

図 13 発症時の飲酒習慣(性・年齢別)

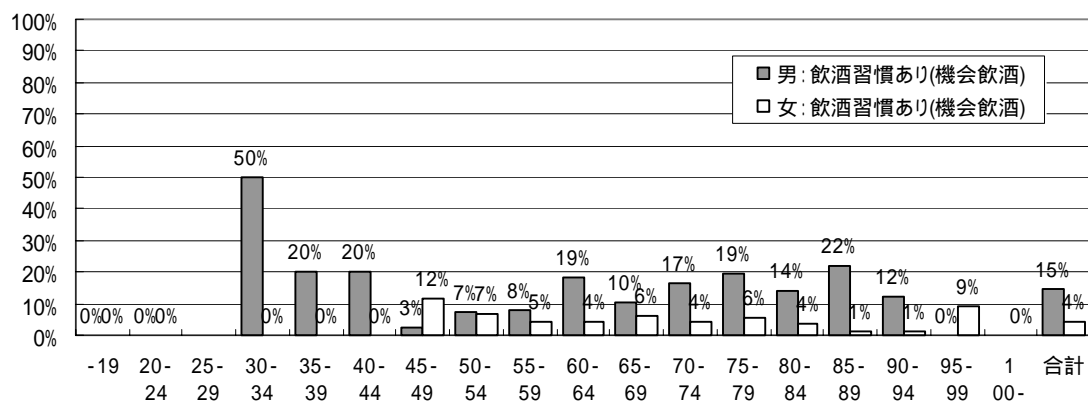
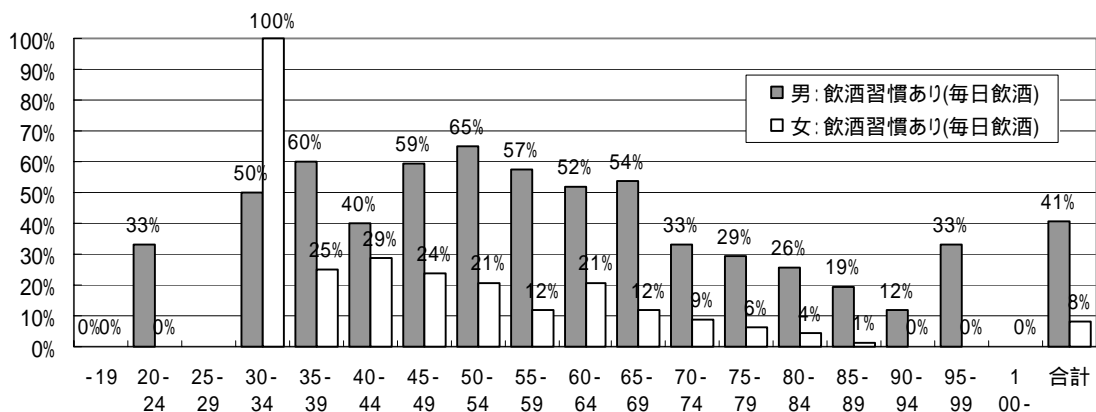
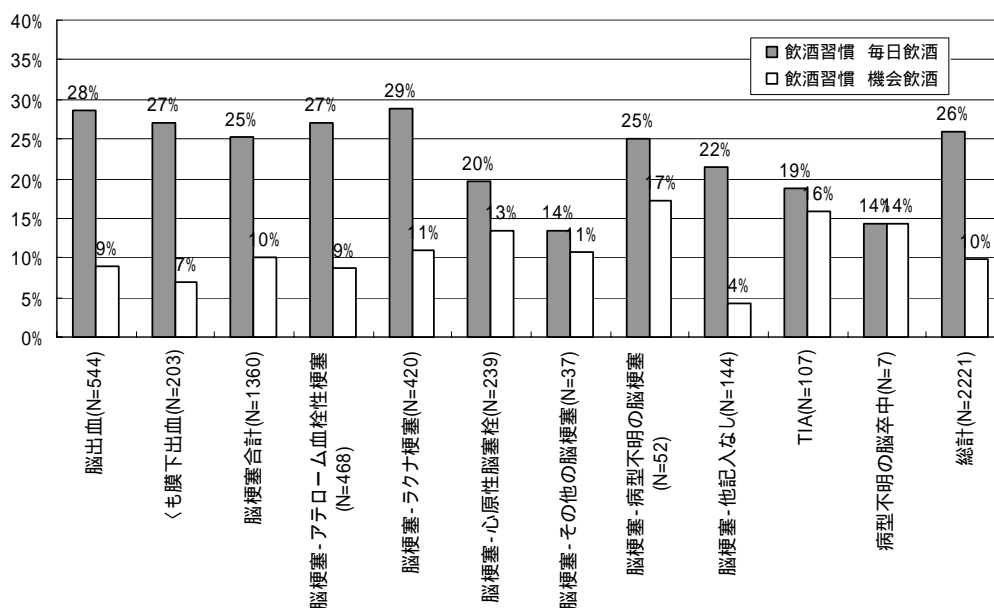


図 14 発症時の飲酒習慣(病型別)



肥満の状況

肥満あり及びBMI25.0以上の者の割合は全体の24%（男23%、女25%）であった（図15）。病型別にみると、脳梗塞 - 他記入なしで肥満者の割合が高かった（図16）。

図15 肥満の状況(性・年齢別)

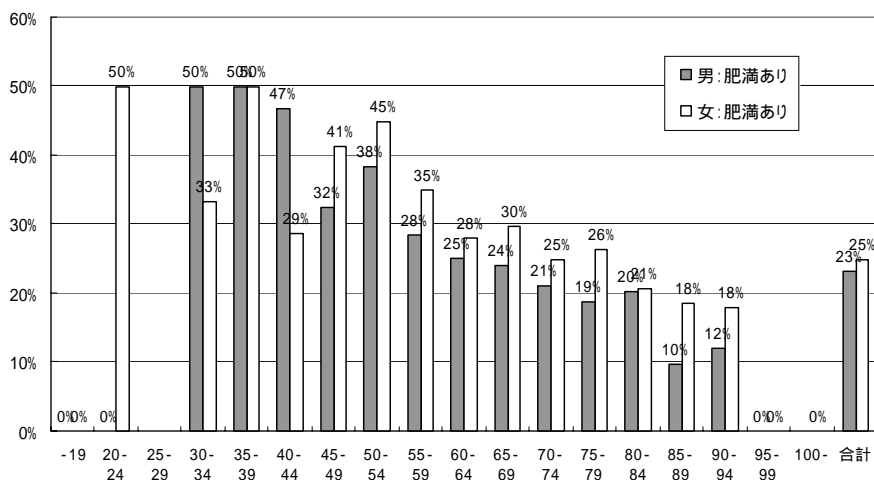
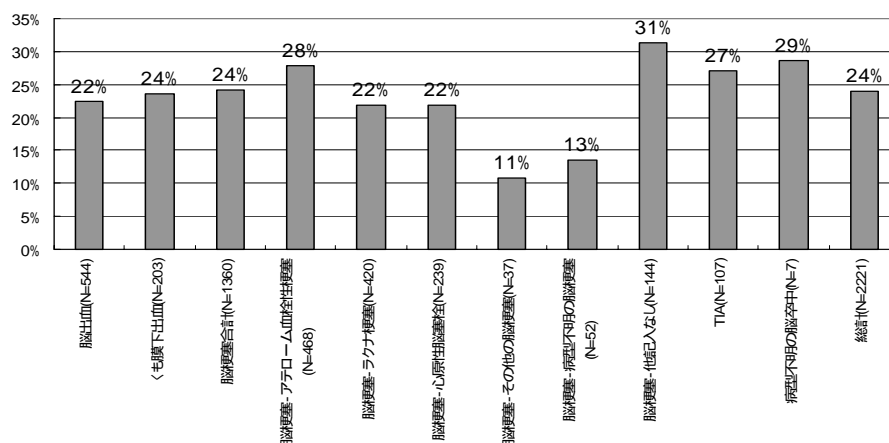


図16 肥満の状況(病型別)



家族歴の状況

病型別にみた家族歴（複数回答）は表12のとおりであった。

表12 家族歴の状況(病型別)

	登録数	脳卒中歴	高血圧歴	糖尿病歴	高脂血症歴	心疾患歴
脳出血	544	51 (9.4%)	57 (10.5%)	17 (3.1%)	0 (0.0%)	19 (3.5%)
くも膜下出血	203	35 (17.2%)	25 (12.3%)	10 (4.9%)	0 (0.0%)	15 (7.4%)
脳梗塞合計	1360	130 (9.6%)	111 (8.2%)	47 (3.5%)	0 (0.0%)	45 (3.3%)
脳梗塞-アテローム血栓性梗塞	468	37 (7.9%)	29 (6.2%)	13 (2.8%)	0 (0.0%)	11 (2.4%)
脳梗塞-ラクナ梗塞	420	32 (7.6%)	22 (5.2%)	14 (3.3%)	0 (0.0%)	10 (2.4%)
脳梗塞-心原性脳塞栓	239	13 (5.4%)	8 (3.3%)	1 (0.4%)	0 (0.0%)	9 (3.8%)
脳梗塞-その他の脳梗塞	37	3 (8.1%)	2 (5.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (2.7%)
脳梗塞-病型不明の脳梗塞	52	0 (0.0%)	2 (3.8%)	2 (3.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
脳梗塞-他記入なし	144	45 (31.3%)	48 (33.3%)	17 (11.8%)	0 (0.0%)	14 (9.7%)
TIA	107	12 (11.2%)	13 (12.1%)	1 (0.9%)	0 (0.0%)	7 (6.5%)
病型不明の脳卒中	7	1 (14.3%)	(0.0%)	(0.0%)	0 (0.0%)	(0.0%)
総計	2221	229 (10.3%)	206 (9.3%)	75 (3.4%)	0 (0.0%)	86 (3.9%)